

日本演劇史の金字塔、ついに映画化

長崎を最後の被爆地に——祈りとは…許しとは…愛とは…母性とは…昭和32年聖夜の物語



祈り

— 幻に長崎を想う刻 —

原作：田中千禾夫
『マリアの首—幻に長崎を想う曲—』



高島礼子

田辺誠一 金児憲史 村田雄浩

藤本隆宏 温水洋一 馬淵英里何 宮崎香蓮 大桃美代子

黒谷友香

寺田 農 柄本 明 美輪明宏 (被爆マリア像の声)

井手麻人 城之内正明 玉浦有之祐 たくみ稜



主題歌：「祈り」(新自分風土記I~望郷編~) 歌：さだまさし

監督：松村克弥 脚本：渡辺善則 松村克弥 亀 和夫 統括プロデューサー：家喜正男 プロデューサー：亀 和夫 城之内景子

映画上映会 令和6年 2月11日 14時開演 佐々町文化会館大ホール

※全席自由
※前売券が完売の場合、
当日券の販売はありません。

戦争ほど悲惨で残酷なものはないか。原水爆ば使うなよりも、戦争そのものばなくしたか。

映画「祈り-幻に長崎を想う刻-」 上映 & トークショーを開催します!!



1945年8月9日11時2分、広島に次ぐ二発目の原子爆弾が長崎市に投下され、人口24万人のうち約7万4千人が一瞬にして命を奪われた。東洋一の大聖堂とうたわれた浦上天主堂も被爆し、外壁の一部を残して崩壊。それから12年の時が過ぎて、浦上天主堂跡から被爆したマリア像を盗み出す一味の姿があった。首謀者はカトリック信徒のふたりの女。彼女たちは、なぜ、マリア像を盗み出さねばならないのか？

映画「祈り-幻に長崎を想う刻-」上映 & トークショー黒谷友香さんと松村克弥映画監督

上映会終了後には、黒谷友香さん(主演)と松村克弥さん(映画監督)とのトークショーが開催します。

販売開始

令和6年 **1月6日** (土)
10時から

販売場所

佐々町教育委員会(役場2階)
佐々町立図書館
佐々町公民館

※土日・祝日は、佐々町立図書館のみの販売となります。

